

2003年三鉱シンポジウム  
「炭素，炭酸塩：IMA-Kobe に向けて」プログラム

期日：平成 15 年 9 月 30 日(火)10:30～17:30

会場：仙台市戦災復興記念館 2階記念ホール

主催：日本鉱物学会(当番学会)・資源地質学会・日本岩石鉱物鉱床学会

コンピーナー：日本鉱物学会：黒澤正紀(筑波大・地球)・宮脇律郎(科博)・佐藤 努(金沢大)

資源地質学会：村上浩康(金属鉱業事業団)

日本岩石鉱物鉱床学会：M. Satish-Kumar(サティッシュ クマール)(静岡大・理)

- 9月30日(午前) -

10:30 - 11:15 座長：宮脇律郎

10:30 S-09 分子動力学法による calcite の高温相転移とその次数に関する研究

川野 潤・三宅 亮・北村雅夫(京大・院理)

10:45 S-10 原子間力顕微鏡を用いた炭酸カルシウム結晶成長過程における不純物効果の多形間比較観察

神谷奈津美・鍵 裕之(東大・院理)

11:00 S-11 Mineralogic and stable isotopic evolution during high temperature skarn formation at Fuka, Okayama

エム サティッシュクマール(静岡大・理)・草地 功(岡大・教育)

11:15 - 12:00 座長：黒澤正紀

11:15 S-12 下部マントルにおけるマグネサイトの安定性とその新しい高压相

一色麻衣子・入船徹男(愛媛大・地球深部)・廣瀬 敬(東工大・理工)・小野重明(海洋科技セ)・

西堀英治(名大・工)・大石泰生(JASRI)・綿貫 徹(原研)

11:30 S-13 テクトニック・セッティングによって異なるカーボナタイトマグマの組成

白坂瑞樹(金沢大・理)

11:45 S-14 炭素質コンドライト中のナノダイヤモンド・グラファイト・有機物の電顕観察と熱水変質・熱変成作用での生成の可能性

赤井純治(新潟大・理)・青木崇行(新潟大・自然)・赤坂 健(筑波大・化)

- 9月30日(午後) -

13:00 - 14:55 座長：宮脇律郎

13:00 S-01 炭素，炭酸塩：IMA-KOBE にむけて

[コンピーナー・黒澤正紀(筑波大・地球)・宮脇律郎(科博)・佐藤 努(金沢大)・

サティッシュ クマール(静岡大・理)・村上浩康(金属鉱業事業団)]

13:10 S-02 天然ダイヤモンドの包有物から探るダイヤモンド生成環境(招待講演)

鍵 裕之(東大・院理)

13:45 S-03 ダイヤモンドの工業応用(招待講演)

鹿田真一(住友電気工業)

14:20 S-04 多孔質炭素材料の構造とエネルギー分野における期待(招待講演)

吉澤徳子(産総研)

-----14:55 休憩-----

15:10 - 16:20 座長：黒澤正紀

15:10 S-05 メタンハイドレートの高压構造変化(招待講演)

平井寿子(筑波大・地球)

15:45 S-06 希土類炭酸塩鉱物の結晶化学(招待講演)

宮脇律郎(科博)

16:20 - 17:30 座長：佐藤 努

16:20 S-07 これからの炭酸塩古気候学(招待講演)

狩野彰宏(広島大)

16:55 S-08 初期地球環境における異常な炭素循環：生命初期進化へのヒント(招待講演)

掛川 武(東北大・院理)